

■ 会議概要

第5回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会

◆日 時 平成29年3月17日(金)午後1時30分～

◆会 場 鶴岡市総合保健福祉センターにこふる大会議室

◆出席者

佐藤滋委員（会長）、高谷時彦委員、渡部幸委員、阿部博行委員、酒井忠久委員、山田鉄哉委員、渡会悟委員、阿部寛委員、稲泉眞彦委員、秋野公子委員、阿部良一委員、勝木正人委員、

◆欠席者

野堀嘉裕委員、粕谷典史委員、石川和俊委員、大場秀樹委員、小細沢充委員

◆公開・非公開 公開

◆傍聴人の人数 0人

◆次 第

1. 開 会
2. 挨拶
3. 委員紹介
4. 委員長選出
5. 協議
 - (1) 平成28年度の事業報告について
 - (2) 総括評価について
 - (3) 平成29年度事業計画について
 - (4) 歴史的風致形成建造物の指定について
6. その他
7. 閉 会

◆ 質疑

委員

資料1の8ページ、集落座談会で結ばれた協定締結の概略について説明してほしい。資料5の風間家旧別邸無量光苑表門の調査内容にある「敷地南面東端部」は「敷地南面西端部」の間違いではないか。

羽黒総務企画課補佐

門構え等、手向らしい景観はどういうものかについて共通認識をして来年度に直せるものは直していこうという話をした。また、気持ちの部分で手向らしい気持を後世に伝えるということで、神社等の行事を交えて地域の掘り起こしを行っていこうという協定

を結んだ。

委員

神社と一体となった宗教的な営みと同時にまちなみも大事だということを共有しましょうというのが協定の根幹。これから門や建物を直す際には歴史的風致を形成してきたものにも配慮することで行事にも生きてくるであろうというのを確認した。

社会教育課補佐

資料5の風間家旧別邸無量光苑表門について、「敷地南面西端部」の間違いなので訂正する。

委員

資料2の外部評価について、課題のところに写真をつけてもらえるとわかりやすい。こういったところが問題だったのか補足して説明してもらいたい。

都市計画主査

公園周辺について、道路と園路の境目あたりの点字ブロックが目立つので景観に配慮した検討の余地があったのではなかったかということだった。また、藤沢周平記念館前の園路について、歩車分離が検討できなかったかという指摘だった。

手向について、消防ポンプ小屋を周りに似せたことが違和感だったとのことで、意匠上もう少し検討したらよかったのではないかとのことだった。

松ヶ岡について、蚕室群がクローズアップされて本陣が目立たないので、一体的に見えるようにしたらいいのではということだった。蚕室の修理した柱が雪で斜めに押されているので再度修理するようではおかしいとのことだった。

社会教育課補佐

軒を支える柱があることがわかり、復元という形をとったが、そこに問題があったのであればやり方を考えた方がよかったのではないかというコメントだった。

委員

資料2の38ページ、公園園路について、参拝者等で信号待ちをする人の待ちの場所を確保するような整備をしてほしい。

資料2の36ページ、歴史的建造物の多くが回遊性に乏しいという課題について、建造物が1つしかなくても「何々がある通り」という風にしたらいいと思う。

資料1の18ページ、金峯山について、山登りだけが魅力ではない。食べたり泊まったり遊んだりということがあると思う。

委員

園路について、砂利のほうを歩くべきだと言われたことがある。金峯山について、地元の人たちで「峰」という字は間違いで、名前を戻してほしいという運動がある。

都市計画課長

道形黄金線の整備とあわせて正面広場の整備を予定している。たまりについては、市役所の小屋がある三日口通りにたまりを作ればと思っている。

回遊性が乏しいという課題について、ルートやマップの作り方で国内外に PR していきたい。手向と松ヶ岡も含めて食文化とあわせながら PR していく仕組みを作りたいと考えている。

社会教育課長

金峯山について、保存活用計画を策定中。広範の方に参加いただいでいて、活用のイメージを出していただいでおり、それを保存活用計画でまとめたい。その後は活用の推進協議会を立ち上げ、市民が参加しやすい体制を作っていきたい。さまざまな活用を観光面からも検討していきたい。雪灯籠祭りでは今年は海外からの参加も多かった。修験の山であったこともアピールしていきたい。観光協会で作ったパンフレットや黄金小学校がまとめた「地域の宝」という冊子もあり、地域が盛り上がりを見せており、機会を逃すことなく振興に努めたい。「峯」については、鶴岡市では刊行物等では「峯」を使うようにしているが、国土地理院の地図では「峰」が使われている。

委員

参道については、宮司さんから中央から少しでもずれれば大丈夫ということを言われており、中央に設置した経緯がある。点字ブロックについて、道形黄金線の整備の中で公園側に歩道がつくようになれば、歩道との連続性の中で点字ブロックを解消しなければならぬということがあり、コンクリートを少し残している。

委員

資料 1 の 3 ページ、景観計画の活用について、対応はあったのか。

都市計画課長

きらやか銀行については景観審議会等での審議はしていない。大規模建築物の建築の届出はしてもらっており、意匠等の届出はもらっているが、配置の面における指導項目はなく、届出を受理するという形になっている。

委員

重点区域内での建築については審議を行うなど、協議を重点的にしたほうがいいのではないかと思う。

都市計画課長

地域によっては協定を結んでいるところがある。景観条例の重点区域に公園周辺の指定がないので、指定をしてその中に委員がおっしゃったことがルール化として配慮できればいいと思う。

会長

歴史的風致維持「向上」なので、規制ばかりするのではなく向上することをしていくのが計画なので検討していただきたい。

委員

「金峯」や「松ヶ岡」の表記について、統一していただきたい。

社会教育課長

統一するよう検討する。

委員

資料1の9ページ、無電柱化について、桜小路に入っていくところの無電柱化を要望しているが、見込みがなさそうだと聞いている。平成31年度で事業が終わるようなのでうやむやで終わりそう。我々としては桜小路の無電柱化を望んでいるので要望として願います。

羽黒総務企画課長

無電柱化については市全体でどのように進めていけば効果的か検討していきながら、手向についても検討していきたい。

委員

国でお金のかからない地中化について検討している。国がもう少し安くできる方法を企画化してくれることとタイミングを計っているところである。

委員

計画年度を平成34年度に延長できるか。

羽黒総務企画課長

計画期間の延長も視野に入れながら検討していく。

都市計画課長

国の補助を受けながらの事業となっており、補助の一区切りが平成30年度となっているので、補助申請の時期とあわせながら計画の変更をしていくので、フレキシブルに対応できる。意見を参考とさせていただく。

委員

鶴岡南高校の柵が歴史的風致に馴染まないのはどういうことか。

歴史的建造物を活用したレストラン開発事業について、松ヶ岡では撤退後に人が来なくなり周辺にかなり影響があったので早めに事業を進めてもらいたい。

カラスの問題はどうなっているのか。

都市計画課長

鶴岡工業高校の体育館の建替えにあわせて高校のブロック塀の部分を買ってカーブの部分 safely に曲がれる設計にしたいと考えている。将来的には歩行者が優先的に歩けるようにしたいと考えている。鶴岡南高校の門については漆喰の塀を黒板塀にするのはだめだというところで話は止まっている。歴史的検証をしつつ校門の辺りを漆喰にするなどの修景整備ができればと思っており、検討課題としたい。

カラスの問題については、対策として東北電力で針状のテグスをつけているが、経費の関係で早々はつけられないところがある。丙申堂のところに針状のテグスに変えていきたいと話していたが工事は終わっていないようだ。

政策企画課長

松ヶ岡開墾場の休憩所について、飲食を提供していたところが撤退してお客さんの滞留が悪くなっている。所有者である市としても休んでいただけるような場所として暫定的にでも活用したいと考えている。

委員

鶴岡市を長い目で見ると多くの方の努力で着実に良い方向にきていると思う。市民の関心を高めて、自らの居住するところも意識をもって設計するなりつくっていくことが究極だと思っている。この計画の中で2つの公園整備をしているが、市民は何をしているかわからない。現場にどういうものをつくろうとしているかがわかるような市民向けの表示を努力してもらいたい。

都市計画課長

承知した。